

# カリキュラムの特色

## カリキュラムツリー

1 年前期	1 年後期	2 年前期	2 年後期	3 年前期	3 年後期																																																																																																														
高い倫理観、多様な文化と価値観を学ぶ		全学共通教育科目（主に、1 年前期・1 年後期開講）																																																																																																																	
1 E 文章指導（文章指導）	人の心と体を学ぶことで、臨床の基礎知識を修得するとともに、AIの根幹を知る	多様な医療のフィールドにおけるケーススタディを通じて、実践的な課題を発見する				医療系基礎教育科目（主に、1 年後期から2 年後期開講）																																																																																																													
1 L 人間と思想（科学技術社会と倫理）		<table border="1"> <thead> <tr> <th>医療DX</th> <th>保健DX</th> <th>看護DX</th> <th>福祉DX</th> <th>心理DX</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>E 医療情報科学</td> <td>E 食品衛生学</td> <td>E 看護学原論</td> <td>A 地域共生社会演習 I</td> <td>L 学習・言語心理学 I</td> </tr> <tr> <td>A 歯学概論</td> <td>L 健康食品学</td> <td>E 地域在宅看護学</td> <td>E アダプテッド・スポーツ演習</td> <td>L 学習・言語心理学 II</td> </tr> <tr> <td>A 組織学・発生学</td> <td>L 環境衛生学</td> <td>L 成人看護学</td> <td>E 理学療法概論</td> <td>E 知覚・認知心理学</td> </tr> <tr> <td>A 病理学・口腔病理学</td> <td>E 毒性影響と評価</td> <td>E 老年看護学</td> <td>E 音楽療法</td> <td>L 感情・人格心理学 I</td> </tr> <tr> <td>E 臨床口腔病理学</td> <td>E 公衆衛生学 I</td> <td>L 小児看護学</td> <td>E レクリエーションスポーツマネジメント</td> <td>E 感情・人格心理学 II</td> </tr> <tr> <td>E 臨床画像解析学</td> <td>L 公衆衛生学 II</td> <td>E 母性看護学</td> <td>L 障害者福祉論</td> <td>L 教育・学校心理学 I</td> </tr> <tr> <td>A 歯科放射線学 II</td> <td>E 医療概論</td> <td>L 精神看護学</td> <td>E ソーシャルワーク論 I</td> <td>L 教育・学校心理学 II</td> </tr> <tr> <td>L 調剤学</td> <td>L 臨床心理学</td> <td>L 保健医療福祉制度と看護</td> <td>L ソーシャルワーク論 II</td> <td>L 司法・犯罪心理学</td> </tr> <tr> <td>L 医薬品情報学</td> <td>L ヘルスプロモーション論</td> <td>L 看護技術論</td> <td>E 福祉と当事者のリアル I</td> <td>E 心理学研究法</td> </tr> <tr> <td>E 実務薬学</td> <td>A 社会保障論</td> <td>E 看護技術各論 I</td> <td>L 児童福祉論</td> <td>L 心理学統計法 I</td> </tr> <tr> <td>L 薬剤疫学</td> <td>E 公的扶助論</td> <td>L 看護技術各論 II</td> <td>E スクールソーシャルワーク論</td> <td>E 心理学統計法 II</td> </tr> <tr> <td>E 地域医療学</td> <td>E 公衆衛生学（薬学部）</td> <td>L 在宅看護学各論</td> <td>L 発達心理学 II</td> <td>E 心理情報処理</td> </tr> <tr> <td>L 薬用植物学</td> <td>L 公衆衛生学（歯学部）</td> <td>L キャリア開発論 I</td> <td>E 認知症ケア論</td> <td>L 社会・集団・家族心理学 I</td> </tr> <tr> <td>E 生薬学</td> <td>L 公衆衛生学（心理科学部）</td> <td>E 看護倫理</td> <td>E 家族療法</td> <td>L 産業・組織心理学</td> </tr> <tr> <td>E 漢方薬学概論</td> <td>L 公衆衛生学（リハビリテーション科学部）</td> <td>E がん看護学</td> <td>E マーケティング論</td> <td>L 労働安全衛生論</td> </tr> <tr> <td>L 社会歯科学</td> <td>L セルフマネジメント支援論</td> <td>L セルフマネジメント支援論</td> <td>L マネジメント論</td> <td>L 行動経済学</td> </tr> <tr> <td>E 医療推計学</td> <td>E クリテリカルケア論</td> <td>E クリテリカルケア論</td> <td>E 権利擁護・成年後見制度論</td> <td>E 障害者・障害児心理学</td> </tr> <tr> <td>E ヘルスエコノミクス</td> <td>L セーフティマネジメント論</td> <td>L セーフティマネジメント論</td> <td>E リハビリテーション論</td> <td>L 福祉心理学</td> </tr> <tr> <td>E レギュラトリーサイエンス</td> <td>E 看護管理論</td> <td>E 看護管理論</td> <td>E 高齢者福祉論</td> <td>E 健康・医療心理学 II</td> </tr> <tr> <td>E 臨床検査管理学 I</td> <td></td> <td></td> <td>L 認知症と生活支援</td> <td>E 心理学的支援法 I</td> </tr> <tr> <td>E 臨床検査管理学 II</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>L 心理学的支援法 II</td> </tr> </tbody> </table>				医療DX	保健DX	看護DX	福祉DX	心理DX	E 医療情報科学	E 食品衛生学	E 看護学原論	A 地域共生社会演習 I	L 学習・言語心理学 I	A 歯学概論	L 健康食品学	E 地域在宅看護学	E アダプテッド・スポーツ演習	L 学習・言語心理学 II	A 組織学・発生学	L 環境衛生学	L 成人看護学	E 理学療法概論	E 知覚・認知心理学	A 病理学・口腔病理学	E 毒性影響と評価	E 老年看護学	E 音楽療法	L 感情・人格心理学 I	E 臨床口腔病理学	E 公衆衛生学 I	L 小児看護学	E レクリエーションスポーツマネジメント	E 感情・人格心理学 II	E 臨床画像解析学	L 公衆衛生学 II	E 母性看護学	L 障害者福祉論	L 教育・学校心理学 I	A 歯科放射線学 II	E 医療概論	L 精神看護学	E ソーシャルワーク論 I	L 教育・学校心理学 II	L 調剤学	L 臨床心理学	L 保健医療福祉制度と看護	L ソーシャルワーク論 II	L 司法・犯罪心理学	L 医薬品情報学	L ヘルスプロモーション論	L 看護技術論	E 福祉と当事者のリアル I	E 心理学研究法	E 実務薬学	A 社会保障論	E 看護技術各論 I	L 児童福祉論	L 心理学統計法 I	L 薬剤疫学	E 公的扶助論	L 看護技術各論 II	E スクールソーシャルワーク論	E 心理学統計法 II	E 地域医療学	E 公衆衛生学（薬学部）	L 在宅看護学各論	L 発達心理学 II	E 心理情報処理	L 薬用植物学	L 公衆衛生学（歯学部）	L キャリア開発論 I	E 認知症ケア論	L 社会・集団・家族心理学 I	E 生薬学	L 公衆衛生学（心理科学部）	E 看護倫理	E 家族療法	L 産業・組織心理学	E 漢方薬学概論	L 公衆衛生学（リハビリテーション科学部）	E がん看護学	E マーケティング論	L 労働安全衛生論	L 社会歯科学	L セルフマネジメント支援論	L セルフマネジメント支援論	L マネジメント論	L 行動経済学	E 医療推計学	E クリテリカルケア論	E クリテリカルケア論	E 権利擁護・成年後見制度論	E 障害者・障害児心理学	E ヘルスエコノミクス	L セーフティマネジメント論	L セーフティマネジメント論	E リハビリテーション論	L 福祉心理学	E レギュラトリーサイエンス	E 看護管理論	E 看護管理論	E 高齢者福祉論	E 健康・医療心理学 II	E 臨床検査管理学 I			L 認知症と生活支援	E 心理学的支援法 I	E 臨床検査管理学 II				L 心理学的支援法 II
医療DX						保健DX	看護DX	福祉DX	心理DX																																																																																																										
E 医療情報科学						E 食品衛生学	E 看護学原論	A 地域共生社会演習 I	L 学習・言語心理学 I																																																																																																										
A 歯学概論						L 健康食品学	E 地域在宅看護学	E アダプテッド・スポーツ演習	L 学習・言語心理学 II																																																																																																										
A 組織学・発生学						L 環境衛生学	L 成人看護学	E 理学療法概論	E 知覚・認知心理学																																																																																																										
A 病理学・口腔病理学						E 毒性影響と評価	E 老年看護学	E 音楽療法	L 感情・人格心理学 I																																																																																																										
E 臨床口腔病理学						E 公衆衛生学 I	L 小児看護学	E レクリエーションスポーツマネジメント	E 感情・人格心理学 II																																																																																																										
E 臨床画像解析学						L 公衆衛生学 II	E 母性看護学	L 障害者福祉論	L 教育・学校心理学 I																																																																																																										
A 歯科放射線学 II						E 医療概論	L 精神看護学	E ソーシャルワーク論 I	L 教育・学校心理学 II																																																																																																										
L 調剤学						L 臨床心理学	L 保健医療福祉制度と看護	L ソーシャルワーク論 II	L 司法・犯罪心理学																																																																																																										
L 医薬品情報学						L ヘルスプロモーション論	L 看護技術論	E 福祉と当事者のリアル I	E 心理学研究法																																																																																																										
E 実務薬学						A 社会保障論	E 看護技術各論 I	L 児童福祉論	L 心理学統計法 I																																																																																																										
L 薬剤疫学						E 公的扶助論	L 看護技術各論 II	E スクールソーシャルワーク論	E 心理学統計法 II																																																																																																										
E 地域医療学						E 公衆衛生学（薬学部）	L 在宅看護学各論	L 発達心理学 II	E 心理情報処理																																																																																																										
L 薬用植物学						L 公衆衛生学（歯学部）	L キャリア開発論 I	E 認知症ケア論	L 社会・集団・家族心理学 I																																																																																																										
E 生薬学						L 公衆衛生学（心理科学部）	E 看護倫理	E 家族療法	L 産業・組織心理学																																																																																																										
E 漢方薬学概論						L 公衆衛生学（リハビリテーション科学部）	E がん看護学	E マーケティング論	L 労働安全衛生論																																																																																																										
L 社会歯科学						L セルフマネジメント支援論	L セルフマネジメント支援論	L マネジメント論	L 行動経済学																																																																																																										
E 医療推計学						E クリテリカルケア論	E クリテリカルケア論	E 権利擁護・成年後見制度論	E 障害者・障害児心理学																																																																																																										
E ヘルスエコノミクス						L セーフティマネジメント論	L セーフティマネジメント論	E リハビリテーション論	L 福祉心理学																																																																																																										
E レギュラトリーサイエンス						E 看護管理論	E 看護管理論	E 高齢者福祉論	E 健康・医療心理学 II																																																																																																										
E 臨床検査管理学 I								L 認知症と生活支援	E 心理学的支援法 I																																																																																																										
E 臨床検査管理学 II								L 心理学的支援法 II																																																																																																											
E 前期開講																																																																																																																			
L 後期開講																																																																																																																			
A 通年開講																																																																																																																			
<b>基幹教育科目</b> ※医療系専門教育科目はすべて2年・3年の開講（E/L/Aのみ指定）																																																																																																																			

1 年前期	1 年後期	2 年前期	2 年後期	3 年前期	3 年後期	4 年前・後期
プログラミングで課題解決する開発力を付ける	基本的なAIを自分で作れる	AIで画像認識・ロボティクスができる	医療のフィールドでAIを応用できる	生成AIなどの先端技術を応用できる	実社会で力を試す	医療をフィールドとした課題解決ができる
E 数理・アルゴリズム	L ニューラルネットワーク基礎	E 医療データサイエンス入門 I	L 医療データサイエンス入門 II	E AIプロジェクト基礎	L マルチモーダル生成AI	A 卒業研究 II
E プログラミング演習	L ニューラルネットワーク演習	E 畳み込みニューラルネットワーク基礎	L データ・テキスト生成AI	E 医療AIプロジェクト演習	L ローカル生成AI構築演習	
E データサイエンス実習	L ニューラルネットワークプロジェクト実習	E 画像認識演習	L クラウド生成AI演習	A データサイエンス・AIプロジェクト実習		
		E 画像認識プロジェクト実習	L 生成AI活用プロジェクト実習	A データ駆動型プロジェクト実習（インターンシップ）		
		L ロボットプログラミング実習			L 卒業研究 I	

臨床データサイエンス学環は、教育理念・目標に基づき、学位授与の方針に示した能力を学生が確実に修得できるように、教育課程編成・実施の方針に沿って体系的な教育課程を構成しています。

カリキュラムツリーには、科目履修の順序や配当年次を示しています。

1年次には、「全学教育科目」において、臨床データサイエンティストに求められる基盤となる知識として、高い倫理観、多様な文化と価値観を学びます。また、「医療系基礎教育科目」において、人の心と体を学ぶことで、臨床の基礎知識を修得するとともに、AIの根幹を学びます。

2年次から3年次にかけては、「医療系専門教育科目」において、多様な医療のフィールドにおけるケーススタディを通じて、実践的な課題を発見するスキルを身に着けます。

これら臨床データサイエンティストが課題解決の対象とする「医療のフィールド」に関わる知識・技術・技能を学びながら、並行して、「基幹教育科目」において、広くデータサイエンティストに求められる実践的なスキルや瞬発力を鍛えて、先進的データサイエンスにより、医療をフィールドとした課題を解決できる能力を身に着けます。

学びの集大成となる4年次では、主に卒業研究などを通して、医療をフィールドとした課題解決ができるスキルを修得します。